

理事会報告書

1. 概要

	第1回 理事会
日時	令和6年4月12日 18:30~20:45
場所	Web会議
出席者	理事 大山盛樹、井手伸二、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、重松康志、永木照彦、大石勝規、浦川純二、志岐浩二、小柳 傑、飯野朋彦、笹原順哉、池田章子、森健次郎 監事 平野英三、柿田謙三、大木田治夫 書記 大月雅之、狩浦圭介 事務局 坂井孝行 その他 前田和崇

2. 理事会議題と決定事項

(1) 審議事項

1) 「NPTA 監事」理事会推薦者 選任の件について

選挙管理委員会から監事の立候補・推薦が定員に達しなかったため、理事会より推薦するよう通達あり。平野監事、柿田監事、大木田監事の3名を引き続き理事会推薦として挙げる。審議の結果、提案通り可決された。

2) 令和6年度 長崎県理学療法士協会 定時総会 招集決議について

令和6年度の定時総会を下記の要領で開催する。日時は令和6年6月9日、9時45分から11時15分。開催形式はハイブリッド。決議事項、第1号議案が令和5年度事業報告の承認を求める件、第2号議案が令和5年度収支決算の承認を求める件、第3号議案が令和6年度役員を選任を求める件。報告事項として、令和5年度監査報告について、令和6年度事業計画について、令和6年度事業予算について、研修会事業有料化に関わる会計内規の変更について、以上4つ。審議の結果、提案通り可決された。

3) 「長崎理学療法」のWebサイト作成および無料閲覧サービス登録について

学術誌活性化させるため、過去発刊分のダウンロードも含めて学術誌のインターネットサイトを協会のホームページ中に作りたい。また、長崎理学療法を掲載しているメディカルオンラインより無料での閲覧サービスについて案内あり。メディカルオンラインに掲載されている雑誌のアブストラクトを無料で閲覧できるもの。審議の結果、提案通り可決された。

4) 士会承認症例検討会承認の件について

長崎記念病院から2例申請あり。内容は問題なし。審議の結果、提案通り可決された。

5) 令和5年度介護保険研修会の報告と予算超過について

3月1日に令和5年度介護保険研修会を開催。内容は令和6年度介護報酬改定のポイント。講師は厚生労働省の上田先生、座長は栗原先生。参加者はPT153名。オンライン121名、対面32名。その他職種はオンライン74名、対面22名。3団体合同での予算組みとして、負担割合をPT6割、OT3割、ST1割とする。講師の交通費が予算をオーバーし、全体でも予算超過となったが、資料の計算が合わず、もう一度精査が必要ため審議は持ち越しとなった。

6) 新入会承認について

入会18名、退会2名、復会8名、休会51名。審議の結果、提案通り可決された。

7) 臨床実習指導者講習会の受講者募集について

標記について例年通り、来週から募集を開始する。審議の結果、提案通り可決された。

(2) 報告事項

1) 第34回学術大会準備状況報告

座長を変更。県民公開講座を大山会長、教育セミナーを川口先生に変更。4月22日より参加申し込み開始予定。準備出来次第ホームページに学会特設ページを掲載予定。

2) 総会資料に会員条項の動向を添付する件

先の総会で意見あり、会員動向を資料に掲載予定。2017年度から2023年度までの入会、復会、休会等の年度別状況比較、休会・退会の理由などを掲載予定。

3) 令和6年度 新卒者オリエンテーション開催について

5月1、2日にWebにて開催予定。1日目はJPTA、生涯学習、財務について、2日目は本会組織と地区別交流会を予定。

4) 令和5年度 第2回スポーツ理学療法研修会について

表記研修会を2月14日に開催。参加者38名、講師は濱田先生、吉田先生。時間超過や県内への発信が遅れたことが課題。

5) 関連団体との事業展開、協力を目的とした渉外活動について

3月6、7日に長崎市すこやか長寿財団、障がい者スポーツ協会、高野連、サッカー協会を訪問。活動に対し感謝や今後も協力いただきたい等の声をいただいた。備品の提供や高野連からはチーム専属ト

レーナー配属についての意見もいただいた。また、秋の大会のサポート依頼あり。

- 6) 令和6年度 第1回スポーツ理学療法研修会開催について
6月14日諫早で、熱中症のエビデンスと現場での実践ということで企画。定員50名、ポイントは1.5ポイント、参加費は県内会員1,000円を予定。講師は三浦先生と能先生。前座で、大塚製薬の方で熱中症対策に使われている商品の情報提供をしていただく予定
- 7) 地域包括ケア部 推進リーダー班 班長後任について
地域包括ケア部 推進リーダー班の植田班長が退任。後任は西諫早病院の訪問リハの中倉裕文先生。とりあえず新しい組織になる総会までは担当いただく。
- 8) 令和6年度 長崎市啓発事業公募のお知らせについて
元気がいちばんたい健康祭りということで長崎市から依頼あり。令和6年5月19日、長崎市民会館で開催。内容はロコモ等例年通り行う予定。公募をかける。
- 9) 令和5年度第3回長崎地区研修会について
3月15日にオンラインで開催。テーマは「根拠に基づく医療」、講師は長崎記念病院の後藤先生。予算100,000円で決算51,000円。残金49,000円。問題なく終了
- 10) 令和5年度 長崎・諫早地区合同症例検討会（長崎地区）について
長崎地区、諫早地区合同の症例検討会を開催。会場はたらみ図書館、参加者28名。長崎地区2例、諫早地区1例の計3症例。事業にかかった総額62,693円のうち長崎地区が35,873円、諫早地区が26,820円支出。長崎地区が会場費とお茶代、諫早地区が参加者の資料コピー代を負担する形。
- 11) 令和5年度 長崎・諫早地区合同症例検討会（諫早地区）について
内容は上記10)に同じ。対面で活発な意見、検討が行われた。今後、各地区の士会承認症例検討会で鍛えたものを学会で集めてやっていくという流れも検討。
- 12) 令和5年度 第2回佐世保・県北地区研修会について
第2回佐世保・県北地区研修会について、オンラインで3月7日に開催。参加者30名。3名の先生にご講演いただき、ブレイクアウトルームを使用しグループディスカッションも実施。
- 13) 令和6年度 災害リハビリテーション研修会について
令和6年度の災害リハ研修会について、2部形式を予定。1部は5月18日、佐世保地区の相浦地区コミュニティセンターで基礎研修として対面形式。講師は山鹿温泉病院の佐藤先生。第2部も佐藤先生に内諾いただいている。一部の定員は講師の希望で50名。
- 14) JPTA 設立60周年記念誌作成にかかるアンケートについて
60周年記念誌の以来あり、検討中。内容は士会の誕生、特色、今後の展望など。誕生は山田先生に以前書いていただいたものを編集予定。特色はスポーツに関して重松理事に依頼。展望は大山会長に依頼したい。

(3) その他報告事項

- 1) 令和6年度 定時総会について
鑑文の案が完成。今年度から会員の対面参加も可。委任状も会場とWebを選ぶ形。
- 2) 災害補償制度 令和5年度実績と令和6年度の加入について
令和5年度の災害補償の実績は0件、保険料は184,320円。払い戻しなし。令和6年度は保険料が181,950円。払い戻しが無いタイプ。減額の理由は会員数減。代理店から請求書が届き、財務を通じて保険料振り込み済み。
- 3) 長崎 J-RAT 災害派遣について
能登地震への災害派遣について、4月末でいったん撤退。これまで、長崎からは第6隊まで、24名と、西諫早病院の樋口先生が石川本部の方に派遣された。全体で延べ128名のPT、OTが石川に派遣された。現在費用弁済が終了。今後、災害救助法に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の名称が載るようJ-RATから要望書を提出した。
- 4) 監査について
4月27日土曜日の午後より定時監査を実施予定。